

I. ごあいさつ

平素より阪神電車をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
また、当社事業にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社では、安全を最優先し、安心してお客さまにご利用いただける鉄道であり続けるために、様々な取組みを行っております。

平成28(2016)年度は、踏切道の除却を目的とした高架化工事及び安全性と快適性の向上を目的とした駅改良工事を継続的に進めてまいりました。平成29(2017)年3月には、西宮市内(甲子園駅・武庫川駅間)において高架化が完了し、それに伴い6か所の踏切道が除却され、列車運行の保安度が向上いたしました。また、神戸市内の高架化やホームドアの設置を予定している梅田駅につきましても、引き続き、お客さまや近隣の皆さま、関係機関等のご理解とご協力をいただきながら鋭意工事を進めてまいります。

一方、施設や設備面の改良だけでなく、各種の教育・訓練を通じて人材の育成や安全意識の向上にも注力いたしました。

安全重点取組項目として「部門間の一体感の醸成」、「潜在する危険要因や安全上の気づきの共有」を掲げ、集合教育による他部門業務に関する知識の習得や、合同訓練による部門間の連携強化を図るとともに、現場に潜む危険要因や操業・作業上での気づきを収集・共有する「安全目安箱」制度を充実させました。また、駅ホームにおける安全性の向上対策として、目の不自由なお客さまに対する声かけをより積極的に行う取組みを進めてまいりました。

以上の取組みにより、平成28(2016)年度におきましても、安全目標であります「責任事故ゼロの継続」を達成し、国土交通省近畿運輸局長から31年11か月間の責任事故皆無に対する表彰をいただくことができました。

これからも、全役員・社員が一体となり、鉄道輸送の安全確保を維持し、更なる安全性の向上を目指してまいります。



阪神電気鉄道株式会社
取締役社長

秦 雅夫

平成29年7月